

\*この科目は実務経験のある教員による授業科目です。

科目区分	統合分野	科目名	在宅看護論演習		
開講時間	3年次	単位・時間	1単位・30時間	講師名	専任教員
学習目標	1. 様々な事例から、状態に応じた看護を理解する。				
授業の内容と方法	回	授業内容			授業形態
	1・2	1. 在宅における看護過程の展開 2. 演習オリエンテーション			講義
	3・4	3. 看護過程の展開 1) 事例の理解 2) 調べる 3) 情報の整理			講義 グループワーク
	5・6	4) アセスメント			個人ワーク グループワーク
	7	5) 看護診断 6) 看護計画			個人ワーク グループワーク
	8・9	6) 事例発表 意見交換・討論			演習
	10・11	4. 訪問看護の実際 1) 訪問看護計画書作成			講義 グループワーク
	12・13	2) 訪問看護計画書に基づいた訪問の実際 (ロールプレイ発表)			演習
	14	3) ディスカッション・評価 (訪問マナー)			講義・演習
	15	終講試験			講義・試験
評価方法	筆記試験 50% 演習レポート50%				
テキスト	在宅看護論 《南江堂》 看護診断ハンドブック 第11版 《医学書院》				
参考文献	在宅看護論 《医学書院》 在宅看護論Ⅰ・Ⅱ 《日本看護協会出版》 地域医療を支えるケア・療養を支える技術 《メディカ出版》 在宅看護実習ガイド 《照林社》 在宅看護学 《医歯学出版株式会社》				
自己学習時間	15時間	事前・事後学習	在宅看護援助技術・看護を復習して講義に臨む 課題が提示された場合は、事前に調べ期限内に提出する		